



◆ 【多量TPD-MSによる石炭の発生ガス測定】

【概要】

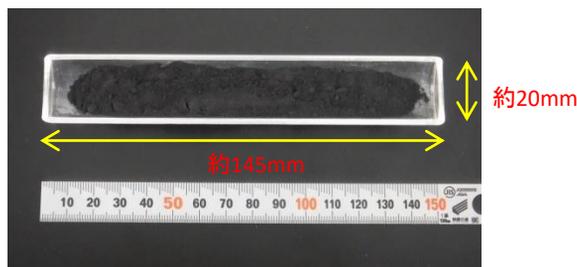
弊社自作のTPD-MS装置では、不均一な試料の代表性を確保した分析が可能です。
(最大5g程度)

【測定事例】

石炭は、天然の生成物であるため、性状の異なる物質が混在して形成されています。そのため、分析する際に、採取箇所によるばらつきが生じやすい試料です。通常のTPD-MSで用いる試料量は数mg程度と、ごく少量であるため、代表性を確保するには測定数を増やすなどの平均化の工夫が必要です。対して、本装置では試料量が5g程度導入できるため、通常の装置に比べ、代表性に優れた測定を行えます。

また、試料を細かく粉砕せず、有姿に近い状態で測定したい場合にも有効です。

多量TPD-MSの試料容器と試料量の例



約 5g の石炭を用いた加熱発生ガス曲線

